

分野名：家庭教育

地域で子育て！子どもの声がひびく地域（まち）

～みんなでつなごう未来の笑顔～

北九州市立中島市民センター【市民センター】 館長 山口 栄子

1. 事業名

「中島ポップひろば」 毎月第3木曜日10:00～12:00

2. 事業の目的

未就学児とその親を対象としたフリースペース「屋根のある公園」のイメージで子育て親子が気軽に集い、安心して過ごせる居場所をつくる。

3. 事業の主体

- ・中島市民センター
- ・子育てサポーター
(見守りボランティア)

4. 連携・協力機関・団体等

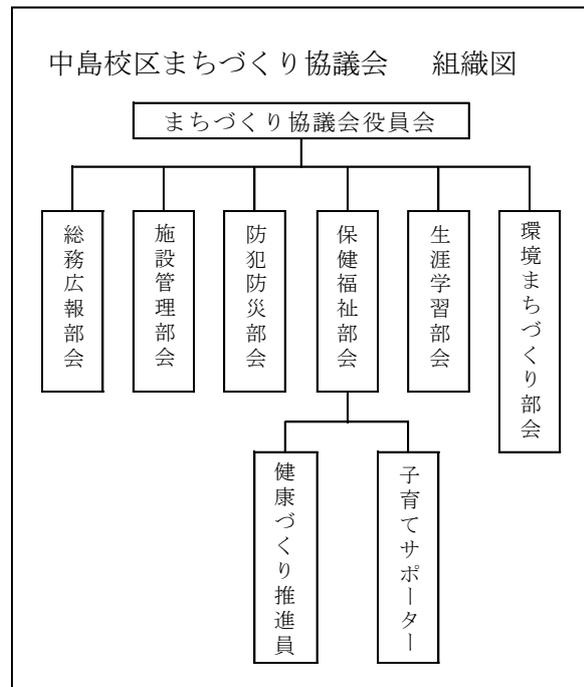
- ・中島校区まちづくり協議会
(健康づくり推進員)
- ・中島市民センター

5. 事業予算

- ・中島校区まちづくり協議会
- ・身近な子育てネットワーク構築推進
事業活動支援補助金（子ども家庭局）

6. 実施に至る経緯

中島校区はモデル地区として、いち早く高齢者の「健康づくり事業」に取り組んだことから、高齢者事業は充実していた。その一方、児童館を併設していることもあり、市民センターの子育て支援事業は少なかった。コロナ時に「育児相談」が予約制になり、待ち時間を過ごす親子の居場所として、令和3年8月、市民センターの一角に常設の「中島ポップひろば」を開設した。その後、常設の「中島ポップひろば」に加え、子育ての悩みや不安を軽減するための交流の場の提供を目的に、令和5年4月から月に1度、多目的ホールで「屋根のある公園」をイメージとしたフリースペース「中島ポップひろば」を設立した。



7. プログラム作成の視点

- ・利用者が安らぎ、落ち着く場所の雰囲気づくりとして、イベント等をあまりせず、利用者が少しの時間でも子育てから解放されるような企画、運営を心がけた。
- ・利用者の思いに寄り添うことを意識している。(予約不要、定員制限なし)

8. 事業の内容

(1) 令和6年度「中島ポッポひろば」プログラム

月 日	行 事	人数	月 日	行 事	人数
4月18日	自由遊び	20	10月17日	赤ちゃん防災	36
5月16日	〃	25	11月21日	ミニ運動会	38
6月20日	〃	24	12月19日	クリスマス会	54
7月18日	〃	27	1月16日	自由遊び(ぜんざい)	16
8月15日	自由遊び(ちらし寿司)	20	2月20日	フラワーアレンジメント	45
9月19日	〃	36	3月21日	記念写真	24

- ・出席カードにかわいいシールを親子に貼ってもらう。
- ・片付けの音楽を合図に全員で片付け、わらべ歌や絵本の読み聞かせなどで終わる。
- ・ポッポひろば終了後、子育て支援会議を実施。その日のフリースペースの様子を共有し、課題を出し合い、次月に改善出来ることを確認し合う。

(2) 活動の様子



読み聞かせ



赤ちゃん防災



ミニ運動会



ミニ運動会(健康づくり推進員)



ぜんざいの試食



フラワーアレンジメント



クリスマス会



子育て支援会議

9. 事業の成果

- ・令和4年度、中島校区にて「子育てサポーター養成講座」を開催。市民センターに関わっているPTAや読み聞かせボランティアの方も受講し、当初3名だった子育てサポーターを9名に増員することができた。子育て世代の若い人材の発掘へと繋がった。
- ・「ポッポひろば」で知り合った保護者同士がその時だけの付き合いではなく、相談し合える良い関係が構築され、主体的に集い交流する様子も見られようになった。
- ・参加されていた「ブレイントレーナー」の資格をもつ母親に「ブレイン体操」の講師を依頼。好評によりその後、市民センタークラブ「ブレイン体操」が発足し、社会参加への一歩となった。
- ・近隣の保育園の事業、児童館の親子ふれあいルームの事業、また、センター事業など、お互いに情報を共有し合い、地域ぐるみで子育て支援が取り組まれるようになった。

10. 今後の課題と展望

- ・企画・運営に関して、利用者の声を引き出せるような体制づくりを考慮していく。
- ・子育てが大変な中でも、喜びや幸せを感じ、中島校区に住んで良かったと思えるような温かい支援を目指していく。
- ・将来地域に貢献できる人材になるよう、親子と地域を緩やかにつなぎ支えていく。

問合せ先

〒802-0075 北九州市小倉北区昭和町16-2

北九州市立中島市民センター

TEL 093-931-8370 FAX 093-931-8371 E-mail : ns-sf@ktqc03.net